

令和7年度 生活科 授業改善推進プラン

大田区立都南小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・植物の栽培では、1年生はアサガオ、2年生はミニトマトを育てた。個人で植物を育てたことで、植物の成長に関心をもち、親しみをもって大切に育てることができた。
- ・国語の説明文の単元と植物の観察を関連付けて学習を行うことで、親しみをもちながら学習を進めることができ、気付きを表現する方法を学習することもできた。
- ・学校探検では、1、2年生合同で行ったことで、1年生は2年生との交流を通し、学校生活に対する興味を高めることができた。2年生も、1年生に学校を案内する活動を通し、上級生としての自覚をもつことができた。
- ・お店屋さんや校外学習など、年間を通して1、2年生の交流を行い、身近な人々への関心を深めることができた。
- ・2年生のおもちゃづくりでは、物の特徴を生かしておもちゃづくりができるよう様々な種類の身近な物を用意したことで、形を生かしたり、それぞれの物を組み合わせたりしながらおもちゃを作ることができた。また、様々な場を用意したことで、風やばねの力など見えない力の不思議さに気付き、それを生かした遊びを工夫することができた。
- ・校外学習を通して、近隣の公園や施設を見学することで、地域で働く人々の様子や自分の生活する町への関心を高めることができた。

(2) 課題

- ・生き物の飼育について、生き物を継続して飼育する活動をさらに充実させる必要がある。
- ・季節との関わりについて、近隣の河川の土手や公園など、地域の特色をさらに生かし、自分と地域の人々、社会及び自然との関わりが具体的に把握できるような学習活動を充実させていく必要がある。

2 授業改善のポイント（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
活動を通して児童の様々な気付きにつながるよう、関わる物や人、場について、児童の思いや願いに沿ったものを設定する。また、それらと主体的に関わりがもてるよう、児童の知的な気付きを全体に広めるような助言・指導を行う。	・児童が活動を通して気付いたことや感じたことを表現することができるよう、言葉に加えて、絵などで描けるようなワークシートを工夫する。 ・自分の考えを広げられるように、互いに意見交換できる場を設定する。	・児童がさらに主体的に活動できるように、デジタル教材や映像の提示など ICT 機器も活用し、児童の思いや願いを生かした活動を設定する。 ・活動が終わったら、必ず振り返りを行い、自分が頑張ったこと、何を次につなげたいかなどをワークシートに書く時間を設定する。